

景況感、15 四半期ぶりにプラス

香川県内企業経営動向調査(平成 29 年 12 月実施)

1.概況

今期(平成 29 年 10~12 月期)の県内企業・業界業況判断 BSI は、年末商戦などによる受注・売上増加が寄与し、26 年第 1 四半期以来 15 四半期ぶりにプラスとなった。

来期(30 年 1~3 月期)の BSI は、今期の反動減などにより悪化する見通しである。

県内企業の BSI は、年末需要の増加する 10~12 月期に上昇し、反動減と閑散期の重なる 1~3 月期に低下する傾向はあるものの、長期的には上昇トレンドとなっている。今後は、好調な外需が内需を牽引することも期待され、改善を続けると見ている。

2.調査結果

(1)業界業況判断 BSI

今期の業界業況判断 BSI は、前期の△10.9 から 11.6 ポイント上昇し、0.7 となった。指数がプラス域となるのは 15 四半期ぶりである。

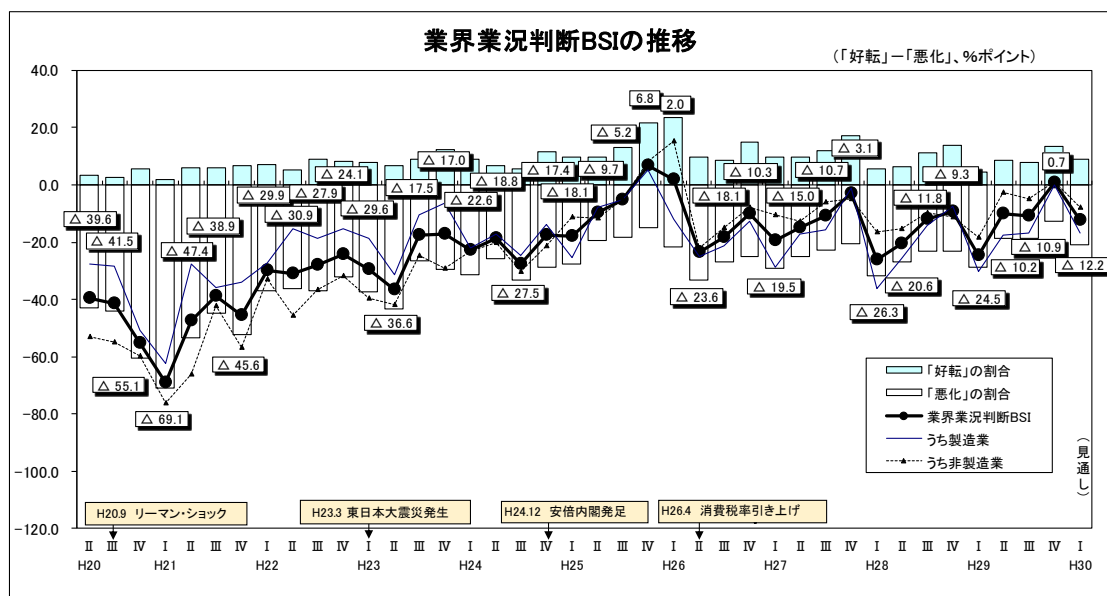
業種別では、製造業が、前期の△16.9 から 16.9 ポイント上昇し、0.0 となった。食料品や繊維製品で、年末の需要増から受注・販売が増加し、大きく上昇した。

非製造業は、前期の△4.9 から 6.2 ポイント上昇し、1.3 となった。卸売業、小売業で年末商戦などにより売上が増加し、プラスに寄与した。

来期の BSI は、△12.2 で、今期の 0.7 から 12.9 ポイント低下する見通しである。

業種別では、製造業が、△16.7 となり、今期の 0.0 から 16.7 ポイント低下する見通し。食料品などで今期の反動減が見込まれることから、低下する見通しとなっている。

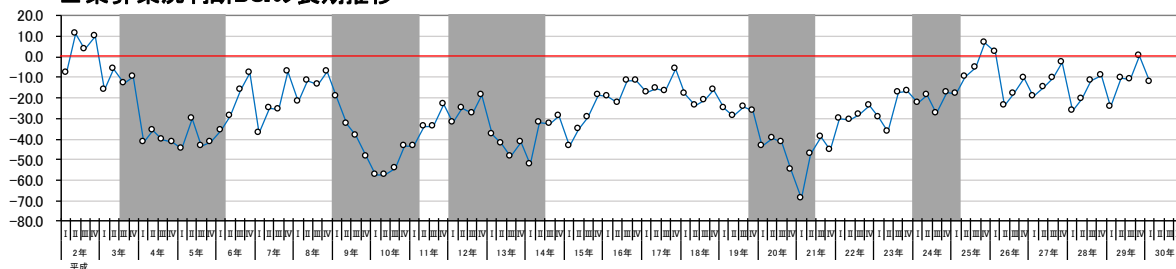
非製造業は、今期の 1.3 から 9.2 ポイント低下し、△7.9 となる見通し。卸売業、サービス業その他で今期の反動減が見込まれることから、低下する見通しとなっている。



■業種別・業界業況判断BSIの推移

業種	実績					見通し	増減	
	(H28.10-12月)	(H29.1-3月)	(H29.4-6月)	前期 (H29.7-9月)	今期 (H29.10-12月)	来期 (H30.1-3月)	今期-前期	来期-今期
製造業	△ 7.5	△ 30.1	△ 17.4	△ 16.9	0.0	△ 16.7	16.9	△ 16.7
食料品	5.6	△ 47.1	△ 27.8	△ 23.5	7.7	△ 53.8	31.2	△ 61.5
繊維製品	△ 25.0	△ 63.6	△ 40.0	△ 33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
木材・木製品	0.0	△ 42.9	△ 28.6	△ 16.7	△ 25.0	0.0	△ 8.3	25.0
化学工業・石油製品	△ 16.7	0.0	△ 14.3	△ 28.6	△ 14.3	△ 14.3	14.3	0.0
金属製品	△ 30.0	0.0	△ 10.0	0.0	0.0	△ 10.0	0.0	△ 10.0
機械器具	△ 16.7	△ 18.2	9.1	△ 8.3	0.0	△ 18.2	8.3	△ 18.2
輸送用機械器具	△ 20.0	△ 20.0	△ 40.0	△ 20.0	△ 25.0	△ 25.0	△ 5.0	0.0
その他	14.3	△ 25.0	△ 5.6	△ 11.8	12.5	0.0	24.3	△ 12.5
非製造業	△ 11.1	△ 18.4	△ 2.5	△ 4.9	1.3	△ 7.9	6.2	△ 9.2
建設業	△ 7.1	14.3	△ 7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売業	△ 17.6	△ 22.2	△ 5.3	0.0	16.7	△ 11.1	16.7	△ 27.8
小売業	△ 9.1	△ 16.7	10.0	4.8	11.8	11.8	7.0	0.0
運輸業	△ 25.0	△ 50.0	△ 22.2	△ 33.3	△ 37.5	△ 37.5	△ 4.2	0.0
サービス業 その他	△ 5.0	△ 27.8	0.0	△ 10.0	△ 5.3	△ 15.8	4.7	△ 10.5
全産業	△ 9.3	△ 24.5	△ 10.2	△ 10.9	0.7	△ 12.2	11.6	△ 12.9

■業界業況判断BSIの長期推移



(注)：30年 I は見通し
：シャドウ部分は景気後退期(香川県「香川県景気動向指数」より)

BSI：Business Survey Indexの略で、企業動向の現状と先行き見通しに対する企業経営者の判断を数字で表したものの。次の算式により求める。

$$BSI = X - Y$$

X：「好転（増加）」と回答した企業の割合（百分率）
Y：「悪化（減少）」と回答した企業の割合（百分率）
※回答は、①好転（増加）、②不変、③悪化（減少）から1つ選択

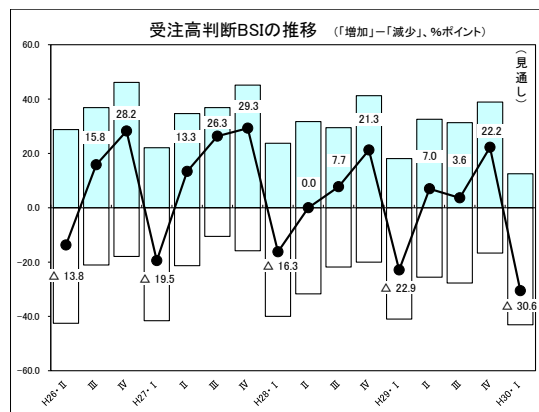
(注)本文中、時期の略記は、それぞれ次の期間を表す。

- ・前期：平成29年7～9月、今期：平成29年10～12月、来期：平成30年1～3月
- ・I期：1～3月、II期：4～6月、III期：7～9月、IV期：10～12月

(2)受注高判断BSI

今期の受注高判断BSIは、前期の3.6から18.6ポイント上昇し、22.2となった。年末の需要増から受注が増加した食料品などで上昇した。

来期のBSIは、△30.6と、今期から52.8ポイント低下する見通しである。今期の反動減が見込まれる食料品が大きく低下する見通し。



◆業種別・受注高判断BSIの推移

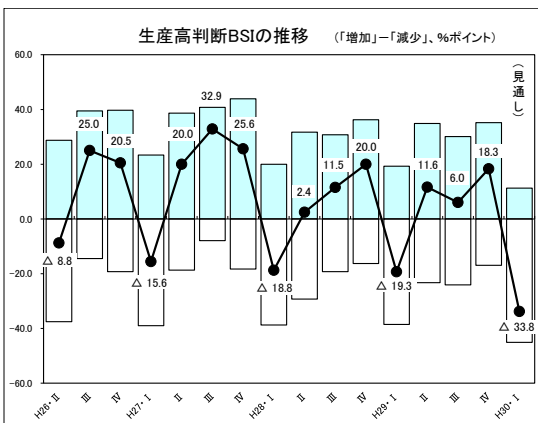
業種	実績			見通し 来期 (H30.1-3月)
	(H29.4-6月)	前期 (H29.7-9月)	今期 (H29.10-12月)	
製造業	7.0	3.6	22.2	△ 30.6
食料品	33.3	5.9	46.2	△ 53.8
繊維製品	10.0	△ 11.1	△ 14.3	0.0
木材・木製品	△ 14.3	50.0	50.0	△ 50.0
化学工業・石油製品	△ 14.3	△ 28.6	14.3	△ 57.1
金属製品	10.0	10.0	10.0	△ 10.0
機械器具	18.2	8.3	△ 9.1	△ 18.2
輸送用機械器具	△ 40.0	20.0	△ 25.0	△ 25.0
その他	0.0	△ 5.9	56.3	△ 31.3
合計	7.0	3.6	22.2	△ 30.6

(注) 非製造業は調査対象外

(3)生産高判断BSI

今期の生産高判断BSIは、前期の6.0から12.3ポイント上昇し、18.3となった。年末の需要増などで高操業だった食料品、その他製造業などが上昇した。

来期のBSIは、△33.8と、今期から52.1ポイント低下する見通しである。今期からの反動減が見込まれる食料品や、受注の減少を見込む木材・木製品などが大きく低下する見通し。



◆業種別・生産高判断BSIの推移

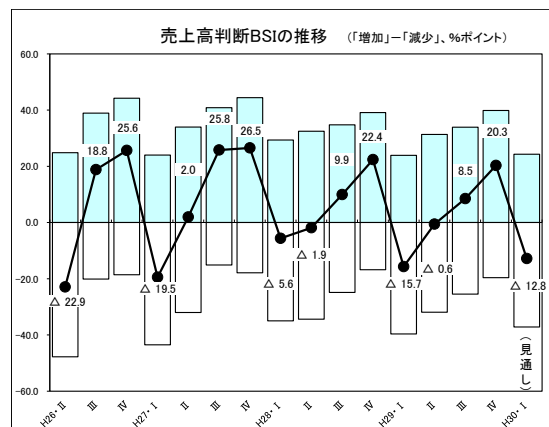
業種	実績			見通し 来期 (H30.1-3月)
	(H29.4-6月)	前期 (H29.7-9月)	今期 (H29.10-12月)	
製造業	11.6	6.0	18.3	△ 33.8
食料品	44.4	△ 5.9	38.5	△ 61.5
繊維製品	0.0	22.2	△ 14.3	△ 42.9
木材・木製品	0.0	66.7	75.0	△ 50.0
化学工業・石油製品	0.0	△ 14.3	14.3	△ 57.1
金属製品	0.0	30.0	20.0	△ 20.0
機械器具	27.3	△ 8.3	△ 9.1	0.0
輸送用機械器具	△ 40.0	0.0	△ 25.0	△ 25.0
その他	5.6	△ 5.9	33.3	△ 26.7
合計	11.6	6.0	18.3	△ 33.8

(注) 非製造業は調査対象外

(4)売上高判断BSI

今期の売上高判断BSIは、前期の8.5から11.8ポイント上昇し、20.3となった。売上が伸びた化学・石油石炭製品などが上昇した。

来期のBSIは、△12.8で、今期から33.1ポイント低下する見通しである。今期の反動減が見込まれる食料品などが低下する見通し。



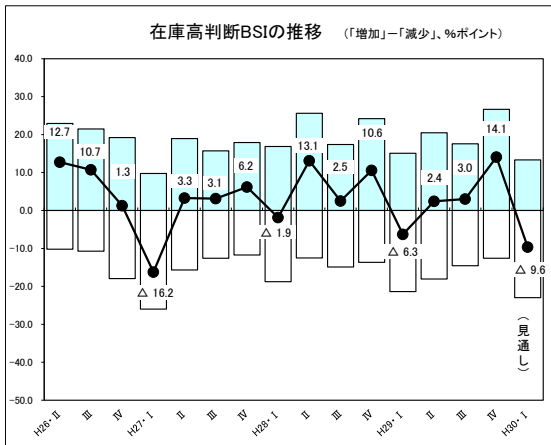
◆業種別・売上高判断BSIの推移

業種	実績			見通し 来期 (H30.1-3月)
	(H29.4-6月)	前期 (H29.7-9月)	今期 (H29.10-12月)	
製造業	4.7	6.0	25.0	△ 30.6
食料品	44.4	11.8	46.2	△ 76.9
繊維製品	△ 10.0	33.3	14.3	△ 14.3
木材・木製品	△ 14.3	50.0	50.0	△ 50.0
化学工業・石油製品	△ 14.3	△ 42.9	28.6	△ 57.1
金属製品	10.0	30.0	20.0	△ 10.0
機械器具	0.0	△ 16.7	△ 9.1	0.0
輸送用機械器具	△ 40.0	0.0	△ 25.0	△ 25.0
その他	0.0	△ 5.9	43.8	△ 18.8
非製造業	△ 6.3	11.0	15.8	3.9
建設業	△ 38.5	28.6	△ 14.3	21.4
卸売業	21.1	△ 5.6	33.3	11.1
小売業	△ 25.0	23.8	23.5	23.5
運輸業	△ 11.1	22.2	0.0	0.0
サービス業 その他	10.5	△ 5.0	21.1	△ 31.6
合計	△ 0.6	8.5	20.3	△ 12.8

(5) 在庫高判断 BSI

今期の在庫高判断 BSI は、前期の 3.0 から 11.1 ポイント上昇し、14.1 となった。受注増の食料品などで上昇した。

来期の BSI は、 $\Delta 9.6$ で、今期から 23.7 ポイント低下する見通しである。今期の反動減が見込まれる食料品、その他製造業などで低下する見通し。



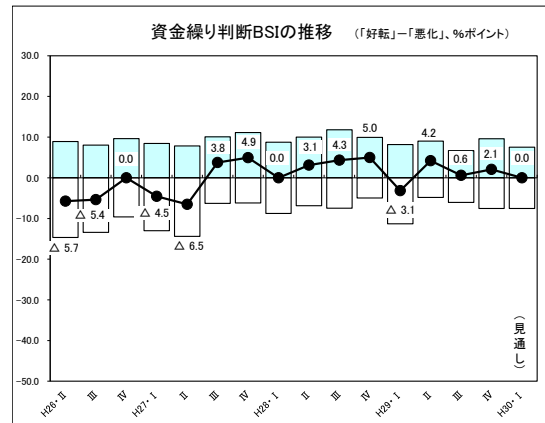
◆業種別・在庫高判断BSIの推移

業種	実績		見通し	
	(H29. 4-6月)	前期 (H29. 7-9月)	今期 (H29. 10-12月)	来期 (H30. 1-3月)
製造業	3.5	1.2	13.9	$\Delta 9.7$
食料品	$\Delta 5.6$	$\Delta 5.9$	53.8	$\Delta 15.4$
繊維製品	20.0	22.2	$\Delta 14.3$	0.0
木材・木製品	$\Delta 28.6$	50.0	0.0	0.0
化学工業・石油製品	0.0	0.0	14.3	14.3
金属製品	$\Delta 20.0$	$\Delta 10.0$	20.0	0.0
機械器具	9.1	0.0	0.0	$\Delta 9.1$
輸送用機械器具	0.0	$\Delta 40.0$	$\Delta 25.0$	0.0
その他	27.8	0.0	12.5	$\Delta 31.3$
非製造業	1.3	4.9	14.3	$\Delta 9.5$
建設業	$\Delta 7.7$	0.0	14.3	$\Delta 28.6$
卸売業	5.3	11.1	22.2	$\Delta 16.7$
小売業	5.0	14.3	11.8	5.9
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業 その他	0.0	$\Delta 5.0$	12.5	$\Delta 12.5$
合計	2.4	3.0	14.1	$\Delta 9.6$

(6) 資金繰り判断 BSI

今期の資金繰り判断 BSI は、2.1 で、前期の 0.6 から 1.5 ポイント上昇した。売上の増加した食料品などで上昇した。

来期の BSI は、0.0 で、今期から 2.1 ポイント低下する見通しである。今期の反動減が見込まれる食料品などで低下の見通し。



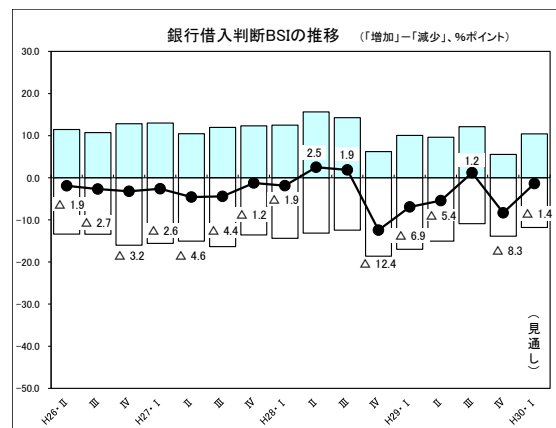
◆業種別・資金繰り判断BSIの推移

業種	実績		見通し	
	(H29. 4-6月)	前期 (H29. 7-9月)	今期 (H29. 10-12月)	来期 (H30. 1-3月)
製造業	2.3	$\Delta 3.6$	8.5	0.0
食料品	5.6	0.0	30.8	$\Delta 23.1$
繊維製品	0.0	0.0	28.6	14.3
木材・木製品	0.0	0.0	0.0	$\Delta 25.0$
化学工業・石油製品	$\Delta 14.3$	$\Delta 14.3$	$\Delta 28.6$	0.0
金属製品	10.0	0.0	0.0	33.3
機械器具	18.2	0.0	0.0	$\Delta 9.1$
輸送用機械器具	0.0	$\Delta 20.0$	0.0	0.0
その他	$\Delta 5.6$	$\Delta 5.9$	12.5	6.3
非製造業	6.3	4.9	$\Delta 4.0$	0.0
建設業	$\Delta 7.7$	7.1	0.0	15.4
卸売業	10.5	11.1	$\Delta 5.6$	11.1
小売業	10.0	4.8	0.0	0.0
運輸業	$\Delta 11.1$	$\Delta 22.2$	$\Delta 25.0$	$\Delta 12.5$
サービス業 その他	15.8	10.0	0.0	$\Delta 15.8$
合計	4.2	0.6	2.1	0.0

(7) 銀行借入判断 BSI

今期の銀行借入判断 BSI は、 $\Delta 8.3$ で、前期の 1.2 から 9.5 ポイント低下した。輸送用機械器具で大きく低下した。

来期の BSI は、 $\Delta 1.4$ で、今期から 6.9 ポイント上昇する見通しである。卸売業などで上昇する見通し。



◆業種別・銀行借入判断BSIの推移

業種	実績			見通し
	(H29.4-6月)	前期 (H29.7-9月)	今期 (H29.10-12月)	来期 (H30.1-3月)
製造業	△ 10.5	4.8	△ 17.1	△ 4.3
食料品	0.0	11.8	△ 7.7	△ 7.7
繊維製品	△ 10.0	22.2	△ 28.6	△ 14.3
木材・木製品	△ 14.3	△ 33.3	△ 75.0	△ 25.0
化学工業・石油製品	△ 14.3	0.0	△ 14.3	0.0
金属製品	△ 20.0	△ 10.0	△ 22.2	0.0
機械器具	△ 27.3	0.0	0.0	9.1
輸送用機械器具	△ 20.0	20.0	△ 66.7	△ 66.7
その他	0.0	11.8	△ 6.3	6.3
非製造業	0.0	△ 2.4	0.0	1.4
建設業	△ 15.4	0.0	8.3	8.3
卸売業	0.0	5.6	5.6	22.2
小売業	15.0	0.0	5.9	0.0
運輸業	△ 11.1	0.0	0.0	△ 25.0
サービス業 その他	0.0	△ 15.0	△ 15.8	△ 10.5
合計	△ 5.4	1.2	△ 8.3	△ 1.4

◆業種別・設備投資判断BSIの推移

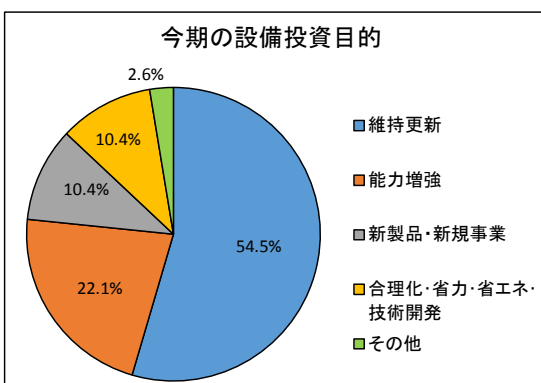
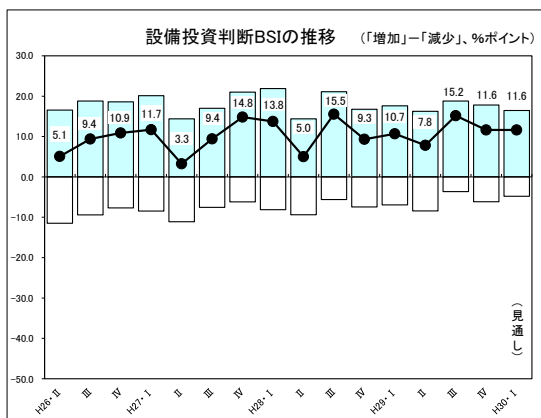
業種	実績			見通し
	(H29.4-6月)	前期 (H29.7-9月)	今期 (H29.10-12月)	来期 (H30.1-3月)
製造業	7.0	15.7	13.9	16.7
食料品	11.1	0.0	7.7	46.2
繊維製品	0.0	11.1	14.3	14.3
木材・木製品	28.6	16.7	25.0	△ 25.0
化学工業・石油製品	14.3	0.0	28.6	△ 14.3
金属製品	10.0	30.0	10.0	10.0
機械器具	0.0	25.0	0.0	18.2
輸送用機械器具	△ 20.0	40.0	50.0	25.0
その他	5.6	17.6	12.5	18.8
非製造業	8.8	14.6	9.5	6.8
建設業	23.1	21.4	0.0	△ 7.7
卸売業	15.8	5.6	17.6	17.6
小売業	10.0	14.3	0.0	5.9
運輸業	△ 11.1	33.3	0.0	12.5
サービス業 その他	0.0	10.0	21.1	5.3
合計	7.8	15.2	11.6	11.6

(8)設備投資判断 BSI

今期の設備投資判断 BSI は、11.6 で、前期の 15.2 から 3.6 ポイント低下した。

来期の BSI は、11.6 で、今期から不変の見通しである。

指数はプラス域で推移しており、企業の設備投資意欲は総じて旺盛であることがうかがえる。

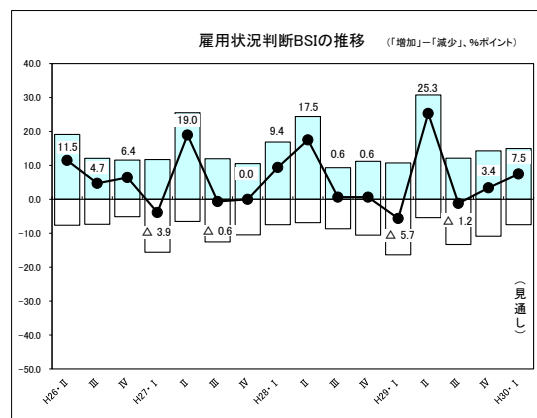


(9)雇用状況判断 BSI

今期の雇用状況判断 BSI は、3.4 で、前期の △1.2 から 4.6 ポイント上昇した。

来期の BSI は、7.5 で、今期から 4.1 ポイント上昇する見通しである。

指数は概ねプラス域で推移しており、雇用環境は総じて良好である。一方で、運輸業は指数がマイナス域で推移しており、新たな雇用を確保できていない様子が見える。



◆業種別・雇用判断BSIの推移

業種	実績			見通し
	(H29. 4-6月)	前期 (H29. 7-9月)	今期 (H29. 10-12月)	来期 (H30. 1-3月)
製造業	27.9	1.2	4.2	4.2
食料品	22.2	△ 11.8	15.4	△ 38.5
繊維製品	20.0	△ 44.4	0.0	14.3
木材・木製品	42.9	16.7	0.0	0.0
化学工業・石油製品	14.3	14.3	0.0	0.0
金属製品	50.0	40.0	0.0	20.0
機械器具	45.5	0.0	△ 18.2	18.2
輸送用機械器具	△ 20.0	△ 20.0	25.0	25.0
その他	27.8	11.8	12.5	12.5
非製造業	22.5	△ 3.7	2.7	10.7
建設業	0.0	14.3	0.0	15.4
卸売業	47.4	11.1	16.7	27.8
小売業	15.0	△ 9.5	△ 11.8	17.6
運輸業	△ 11.1	△ 22.2	△ 25.0	△ 12.5
サービス業 その他	36.8	△ 15.0	15.8	△ 5.3
合計	25.3	△ 1.2	3.4	7.5

◆業種別・採算判断BSIの推移

業種	実績			見通し
	(H29. 4-6月)	前期 (H29. 7-9月)	今期 (H29. 10-12月)	来期 (H30. 1-3月)
製造業	△ 1.2	△ 1.2	8.5	△ 18.3
食料品	16.7	11.8	53.8	△ 61.5
繊維製品	0.0	0.0	14.3	28.6
木材・木製品	0.0	16.7	50.0	△ 25.0
化学工業・石油製品	△ 28.6	0.0	14.3	△ 57.1
金属製品	△ 10.0	0.0	△ 33.3	22.2
機械器具	18.2	△ 8.3	△ 9.1	△ 9.1
輸送用機械器具	△ 40.0	△ 40.0	△ 50.0	△ 50.0
その他	△ 5.6	△ 5.9	6.3	△ 6.3
非製造業	5.0	△ 9.8	10.7	△ 6.7
建設業	0.0	0.0	7.1	14.3
卸売業	15.8	△ 11.1	29.4	△ 17.6
小売業	△ 5.0	0.0	17.6	23.5
運輸業	△ 22.2	△ 33.3	△ 37.5	△ 37.5
サービス業 その他	21.1	△ 15.0	10.5	△ 26.3
合計	1.8	△ 5.5	9.6	△ 12.3

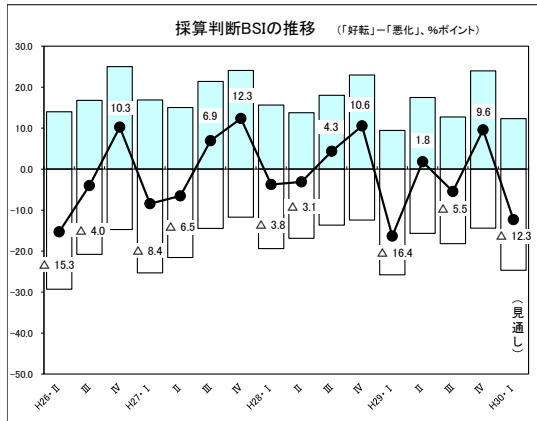
(10)採算判断 BSI

今期の採算判断 BSI は、前期の△5.5 から 15.1 ポイント上昇し、9.6 となった。食料品、卸売業などで上昇した。

来期の BSI は、△12.3 で、今期から 21.9 ポイント低下の見通しである。食料品などが低下した。

(11)経営上の問題点

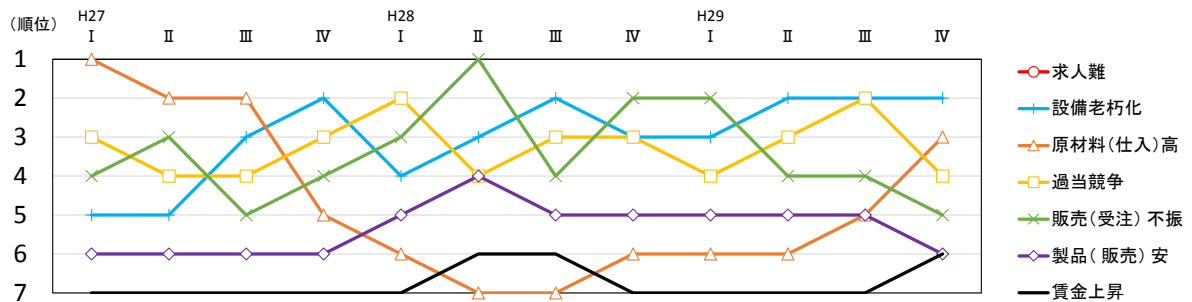
1位は「求人難」の26.5%であった。「求人難」は11期連続の1位である。2位は「設備老朽化」の15.1%、3位は「原材料(仕入)高」の14.8%、4位は「過当競争」の13.6%、5位は「販売(受注)不振」の11.4%、6位は「製品(販売)安」、「賃金上昇」の7.8%であった。



経営上の問題点

平成29年/1～3月期			平成29年/4～6月期			平成29年/7～9月期			平成29年/10～12月期		
順位	項目	構成比	順位	項目	構成比	順位	項目	構成比	順位	項目	構成比
1	求人難	22.3%	1	求人難	21.1%	1	求人難	25.1%	1	求人難	26.5%
2	販売(受注)不振	14.0%	2	設備老朽化	16.0%	2	設備老朽化	15.2%	2	設備老朽化	15.1%
3	設備老朽化	13.8%	3	過当競争	14.1%	2	過当競争	15.2%	3	原材料(仕入)高	14.8%
4	過当競争	13.2%	4	販売(受注)不振	13.1%	4	販売(受注)不振	13.2%	4	過当競争	13.6%
5	製品(販売)安	11.0%	5	製品(販売)安	11.7%	5	製品(販売)安	9.9%	5	販売(受注)不振	11.4%
6	原材料(仕入)高	10.7%	6	原材料(仕入)高	10.4%	5	原材料(仕入)高	9.9%	6	製品(販売)安	7.8%
7	賃金上昇	8.8%	7	賃金上昇	7.7%	7	賃金上昇	6.8%	6	賃金上昇	7.8%
8	環境対応	2.2%	8	設備不足	1.9%	8	環境対応	1.7%	8	設備不足	0.9%
8	その他	2.2%	9	環境対応	1.1%	9	設備不足	0.8%	8	環境対応	0.9%
10	金利負担増	0.8%	9	その他	1.1%	9	その他	0.8%	10	回収条件の悪化	0.6%
11	設備不足	0.3%	11	借入れ難	0.8%	11	借入れ難	0.6%	11	借入れ難	0.3%
11	回収条件の悪化	0.3%	12	金利負担増	0.5%	12	金利負担増	0.3%	11	金利負担増	0.3%
11	借入れ難	0.3%	13	設備過剰	0.3%	12	設備過剰	0.3%	13	設備過剰	0.0%
14	設備過剰	0.0%	13	回収条件の悪化	0.3%	12	回収条件の悪化	0.3%	13	その他	0.0%

経営上の問題点 順位推移(上位7項目)



業種別回答数及び構成比

業種	回答社数	構成比
製造業	72	48.6%
食料品	13	8.8%
繊維製品	7	4.7%
木材・木製品	4	2.7%
化学工業・石油製品	7	4.7%
金属製品	10	6.8%
機械器具	11	7.4%
輸送用機械器具	4	2.7%
その他	16	10.8%
非製造業	76	51.4%
建設業	14	9.5%
卸売業	18	12.2%
小売業	17	11.5%
運輸業	8	5.4%
サービス業 その他	19	12.8%
合計	148	100.0%

企業経営動向調査概要

- 調査時期：平成29年12月2日～平成30年1月5日
(毎年3・6・9・12月実施)
- 調査事項：受注高、生産高、売上高、在庫高、資金繰り、銀行借入、設備投資、雇用、採算、業界業況の各項目別BSI、設備投資目的、経営上の問題点
- 調査方法：景況感についての調査
前期(平成29年7～9月)と比較した今期(平成29年10～12月)の実績及び今期(平成29年10～12月)と比較した来期(平成30年1～3月)の見通しを調査。
- 調査対象：県内に本社または主工場を持つ主要企業253社
- 有効回答率：58.5% (有効回答数148社)

(研究員 中野 祥吾)